

# JA ささかみ

## 1. 農業者の所得増大と農業生産の拡大に向けた取り組み

### ○機械一貫体系の確立に向けて【枝豆】

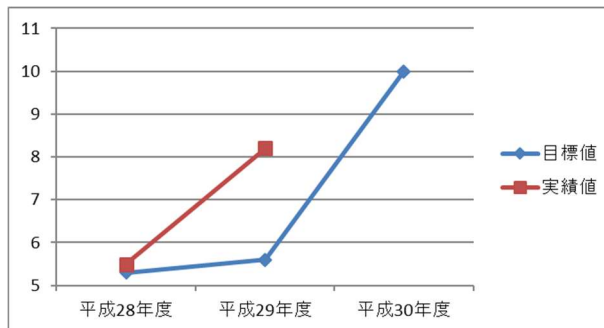
農家所得の向上のために複合経営化(水稲+園芸)を推し進めており、枝豆の産地化を目指し、定植機・トラクターマルチ・枝豆収穫機を導入した。

機械を導入したことで栽培に取り組みやすくなり、今後の栽培面積の拡大が期待される。

作業の省力化と収量アップを目指し、農家所得向上につなげていく。



	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
重点品目作付面積(目標)	5.3ha	5.6ha	10.0ha
実績及び達成率	5.5ha (103%)	8.2ha (146%)	—



※ 30年度目標を上方修正

### ○伝統野菜の復活を目指して【笹神なす】

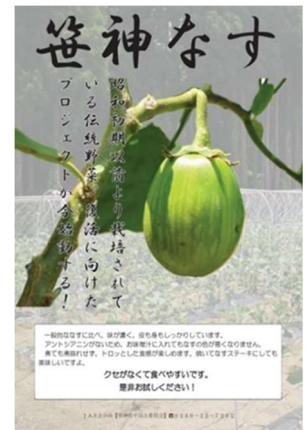
笹神地区の伝統野菜である「笹神なす(白なす)」を復活させ、地域の特産物として拡大推進を図るという目的で復活プロジェクトを実施している。

昔は各家庭で栽培されていたが、最近では栽培農家も減少し、栽培方法も確立されていない中、手探りで栽培を開始。

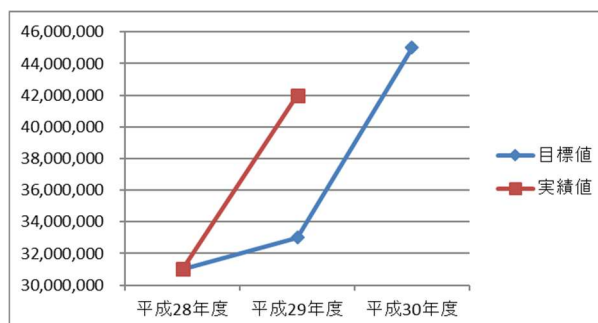
地元の温泉宿と連携し、食事のメニューに加えていただくことで周知を図り、地元スーパーで販売を実施。

首都圏の生協にもインターネット限定で販売を行っている。

今後、栽培農家の確保と販路拡大に向け活動をしていく。



	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
園芸品目販売高(目標)	31 百万円	33 百万円	45 百万円
実績及び達成率	31 百万円 (100%)	42 百万円 (127%)	—



※ 30年度目標を上方修正

## 2. 地域の活性化に向けた取り組み

### ○産直交流で消費者との強い絆を構築

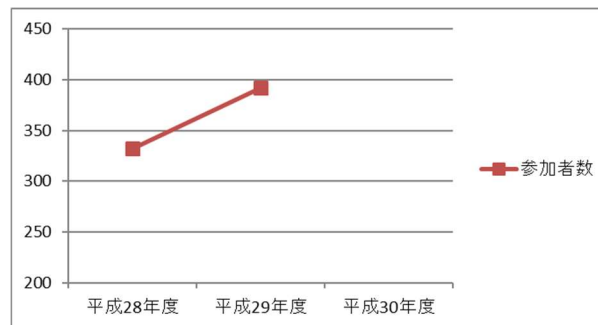
生協とともに毎年4企画のツアー（田植え、草取り&生きもの交流、サマーキャンプ、稲刈り）を実施し、県内外から多くの消費者が交流に訪れている。

消費者は産地を訪れて産地の雰囲気を感じ、生産者と話すことで、生産現場の苦労や生産者のこだわり、想いを感じていただく場となり、生産者は自分たちの作った農作物をPRするとともに、消費者がどのような考えをもっているのかを知る機会となっている。

交流によって、生産と消費の意見交換、情報の共有がなされ、産地を支えるきっかけとなっている。



	平成28年度	平成29年度	平成30年度
実績及び達成率	332人	392人	—



### ○学童農園で小学校5年生を指導

青壮年部を中心に、笹岡・神山両小学校の5年生を対象にして学童農園を実施している。

作業は、青壮年部の指導のもと「播種（種まき）→田植え→草取り→稲刈り→脱穀」と行われており、収穫後には、収穫したお米と一緒に食べたり、2月の農業振興大会にて両小学校共に一年間の作業の報告を劇やクイズ形式で来場者に披露している。

学童農園では、高齢化・後継者不足が叫ばれる中、田んぼに入る機会の減少した子どもたちに、一年間農作業を体験してもらうことで、自分たちが日頃食べているお米がどのようにできるのか、農業の大変さとともに農業の楽しさを次世代に感じてもらうためにこれからも行っていく。



